

令和7年度コナラ豊凶結果について

1 コナラの調査目的

コナラの実り具合が、野生動物の生息や森林生態系の変化に影響を与えることから、コナラの豊凶調査を行っています。

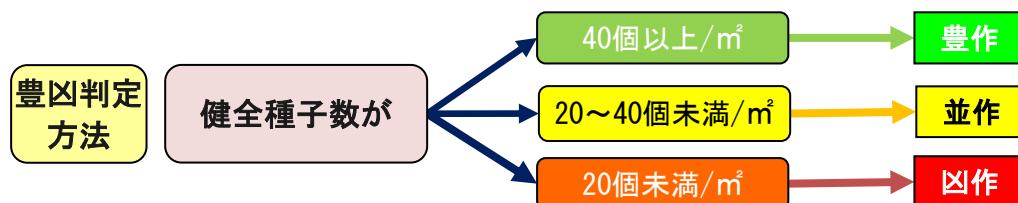
2 調査方法及び調査時期

県内11カ所のコナラ林の調査地にトラップ(面積約1m²の円形ネット)を設置し、トラップに落下したコナラの健全種子の数から豊凶を判定します。調査は実が落下する9月～11月頃に行っています。

3 コナラの豊凶基準及び結果

豊凶基準は、豊凶区分に関する既存の論文等の報告がないことから、これまでの調査結果を基にしています。

トラップ(5個:a、10個:b)に落下した種子を判別して、健全種子数が40個以上/m²を豊作、20～40個未満/m²を並作、20個未満/m²を凶作としています。



【豊凶結果】

	調査箇所	健全種子数 (個/m ²)	虫害種子数 (個/m ²)	豊凶判定 結果
1	眺海の森(a)	1.6	0.0	凶作
2	西荒屋(a)	5.0	1.6	凶作
3	秋山(a)	0.0	0.3	凶作
4	庭月(b)	0.1	6.8	凶作
5	黒沢(a)	1.2	0.0	凶作
6	鶴子(b)	0.0	0.5	凶作
7	堂の前(b)	0.0	0.6	凶作
8	大谷(b)	0.1	2.0	凶作
9	古竜湖(a)	0.0	0.0	凶作
10	健康の森(a)	3.4	1.4	凶作
11	源流の森(a)	0.2	0.8	凶作

コナラ豊凶結果 位置図

